

2. 6. 女性とスポーツについての課題の具体的取り組み内容(主な回答)

1. 女性スポーツ人口の増加（普及）

1	普及大会、講習会等の実施
2	全国レディス大会の開催。ベテランミックス大会の開催
3	全日本学生女子選手権大会、その他女性のみエントリーの大会を実施
4	講習会・教室の実施。国際大会の開催
5	女子チーム報奨金制度の実施。ウイメンズカレッジの実施
6	全日本女子選手権、家庭婦人大会の定着・発展
7	アンケート調査を実施
8	レディス大会の開催。女性連盟設立
9	女性チームの増加。男女混合大会の増加

2. 女性指導者の増員

1	公認コーチの推薦
2	女性対象の指導者講習会の開催
3	国体、学連通じて呼びかけ
4	公認コーチ女子受講枠の実施

3. 女性審判の増員

1	IF (国際連盟) へ TD や Judge のセミナーと資格取得へ積極的参画
2	女性のための公認審判員認定会の開催
3	女性対象の審判講習会の開催
4	女性審判員育成プロジェクトの実施
5	各大会での積極的な配置
6	最上級審判員 (3A) への登用・認定

4. 団体内の女性役員（理事・評議員・各種委員会委員等）の増員

1	積極的登用を推奨している
2	全体数に女性の占める割合の設定をしている
3	各加盟団体に要請をしている
4	都道府県、各連盟共に人材育成をしている
5	各委員会に積極的に女性を増員中。昨年度まで副会長に女性を登用していた。
6	平成 14 年度より協会女性理事を選任。同時にレディス委員会を発足した。

5. 団体の意思決定機関への女性の参画

1	NF 各委員会で見解、議論をしている
2	女性理事の増員
3	評議員・運営理事に各 1 名あり
4	1 名実際に参画済

6. 女性とスポーツに関する他団体とのネットワーク・情報交換

1	各種目間の委員でメーリングリストでの情報交換を行っている
2	国内関係諸団体また AF、IF 関係との情報交換
3	女性スポーツ財団に加入し、女性スポーツの振興を図っている

7. 女性とスポーツに関する情報の収集と開示

1	ホームページを開設
2	オーストリア、カナダ、ノルウェー、スウェーデン他女性の海外委員が在住し情報収集、交換している

8. 競技会・イベント等の企画立案における女性の参画

1	レディース競技大会の開催
2	競技会、イベントの委員会に日本女子連盟の代表を参画させている
3	当該各委員会・部会に女性委員・部員を増員している
4	家庭婦人連盟全国大会(3大会運営)の実施
5	自然保護等のイベントに多くの女性が参画している
6	女子大会の女性審判の起用。各委員会への女性委員の参加
7	レディス委員会で全国大会中日観光ツアーを企画実施。女性会員の親睦を図る

9. 女性とスポーツに関するセミナーやキャンペーンの実施

1	全国女性委員会議の開催
2	各種目での実施を検討していきたい
3	レディースフェスティバルを 47 都道府県に実施済
4	栄養学セミナーの実施
5	メディカルセミナー、定期的な女性フォーラムの開催

10. 女性指導者・審判の資質向上のためのプログラムの実施

1	男性と同じ扱いをしている。種目によりセミナーや部会が開かれている
2	指導者、審判講習会の開催及び派遣
3	女性対象の指導者講習会の開催。女性対象の審判講習会の開催
4	指導者、審判員人材育成を実施
5	女性審判セミナーの開催
6	女子講習会実施中、女子審判講習会実施中で実効が上がっている

11. 女性とスポーツを理解するための指導者研修事業の実施

1	男性と同じ扱いをしている 今後優先的に行う事業として認識をしている
2	女性対象の指導者講習会の開催。女性対象の審判講習会の開催
3	15 年度日本協会は全国レディス指導者講習会実施

12. スポーツを実施している女性自身の啓発・情報提供

1	各種目での活発な活動を推進したい
2	15年度日本協会は全国レディス指導者講習会の実施
3	女性フォーラムの開催

13. 練習施設・大会会場における託児所の整備・充実

1	まだ認識が育っていないので提案をしていきたい
2	各種国内大会等で託児所の設置を検討
3	平成14年度より国体会場における「チャイルドルーム」設置
4	国、行政が積極的に取り組んでいただきたい
5	国内レディス大会で設置
6	100%民間(営業)施設に付、経営者次第ではある。バリアフリーと併せて今後の課題ではある。

14. 女性に配慮したスポーツ設備(更衣室、トイレ等)の充実

1	大会各地での普及の遅れが感じられるが改善していきたい
2	国内大会委員会、選手委員会にて検討
3	施設レイアウトモデルに記載
4	各大会ごとに特別の配慮をしている
5	女性のみ参加の全国大会の場合は男子トイレも一部女子用にし、女子更衣室を配慮している。
6	100%民間(営業)施設に付、経営者次第ではある。バリアフリーと併せて今後の課題ではある。

15. セクシャルハラスメント防止ガイドラインの整備・普及

1	地域格差があるが必要と感じる
2	選手委員会にて検討
3	場内警備強化
4	整備の必要を感じている(今後の課題)

16. 女性とスポーツに関する研究への支援・助成

1	冊子を作成
2	積極的に進めなければいけない事項としてとらえている

17. 女性競技者の撮影等に関するメディア・ガイドラインの作成

1	今後更に検討していかなければならない
2	記者クラブ部会と検討中
3	盗撮等に関するもの